

教 科	数学	科 科目	数学A	学年	第 1 学年	系列 コース	共通
単位数	2 単位	教科書	高等学校 数学A(数研出版)				
副教材	問題集『4プロセス 数学Ⅰ + A』数研出版 『4プロセス数学A 完成ノート』数研出版						

1. 学習の到達目標

(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 評価の観点

①知識・技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

3. 学習の計画

学期	月	週No.	学習項目(単元)	学習内容
1 学 期	4月	1	第2章 図形の性質	
		2		
		3		
		4		
	5月	5		
		6		
		7		
		8		
		9		
	6月	10		
		11		
		12		
		13		
	7月	14		
		15		
		16		
2 学 期	8月	17	第1節 平面図形 第2節 空間図形	平面図形と空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
		18		
	9月	19	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率 第3章 数学と人間の活動	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて
		20		
		21		
		22		
	10月	23		
		24		
		25		
		26		
		27		
	11月	28		
		29		
		30		
		31		
	12月	32		
		33		
		34		
3 学 期	1月	35		
		36		
		37		
		38		
	2月	39		
		40		
		41		
		42		
	3月	43		
		44		
		45		

4. 評価の方法

総合的に定期考査の得点に加えて、課題学習、授業態度、小テスト等日々の学習活動について、各評価の観点（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）ごとに評価する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。